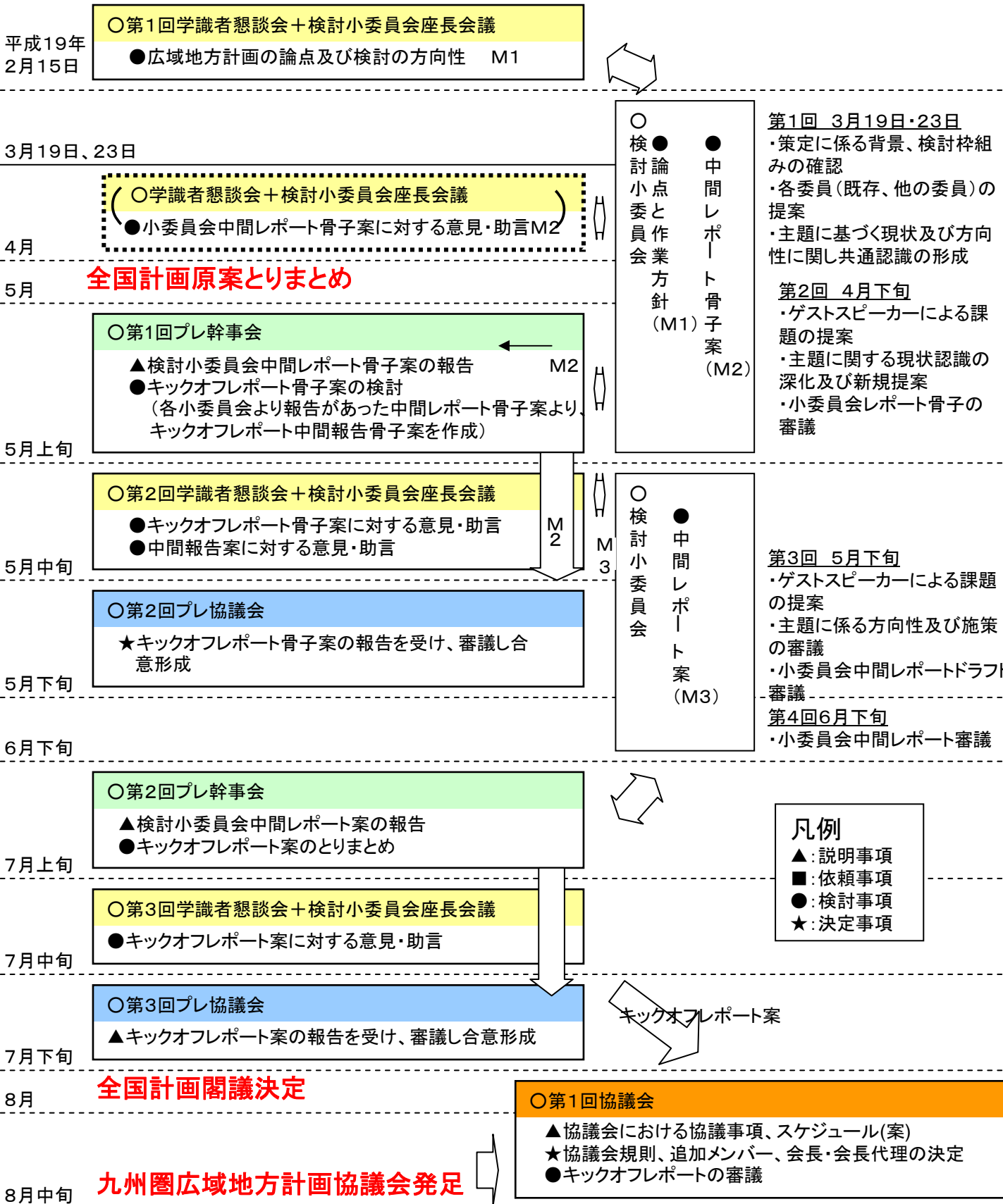
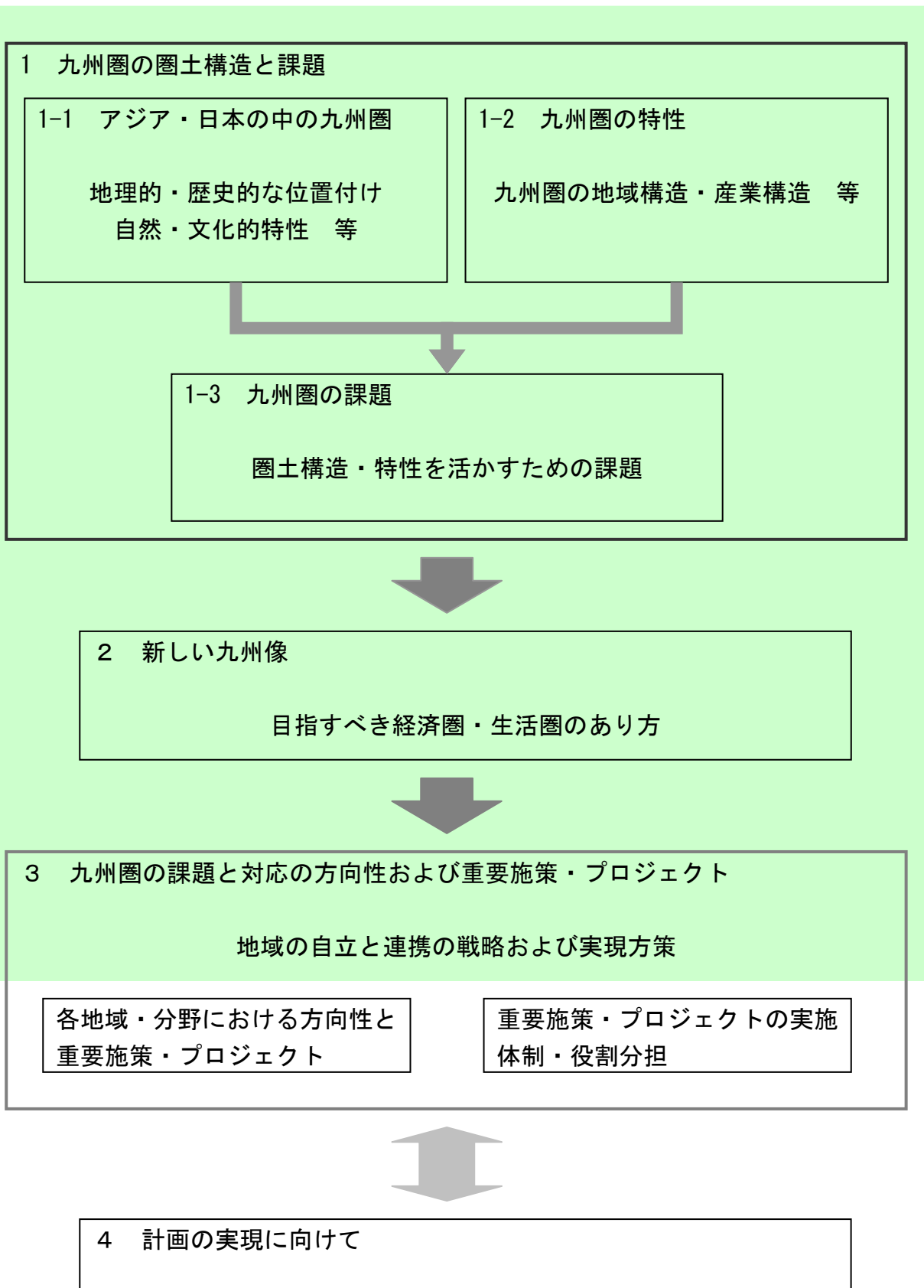


九州圏広域地方計画策定に向けてのキックオフレポートの作成手順



キックオフレポートの構成イメージ（案）

キックオフレポート骨子の記載内容（3は対応の方向性まで）



活力ある経済社会を目指す検討小委員会 中間レポートの構成イメージ

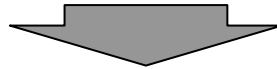
◎ 九州圏の圏土構造

○ アジア・日本の中の九州圏

- 国土における九州圏の位置付けの変化
- アジア諸国と地理的に近接し、歴史的につながりが深い文化・生活を有する
- 国境離島を有する
- 太平洋ベルトでの位置づけは低い
- シリコンアイランド、カーアイランド
- 食糧・木材の供給基地
-

○ 九州圏の特性

- 温暖な気候と豊かな自然
- 急峻な九州山地が中央に位置
- 離島・半島などの地理的制約のある地域が多い
- 災害が多発
- 中核となる都市が適度に分散配置し、都市と農村が近接
- 多自然居住地域を有する
- 東西間・南北間格差(人口、所得、産業、インフラ…)
- 観光資源を全域に有する
-

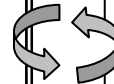


◎ 九州圏の課題と対応の方向性

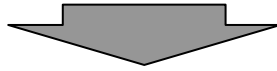
○ 「活力ある経済社会」を目指す上での課題

- アジアとの結びつきの強さを活かした産業振興
- 産業構造特性を踏まえた圏域内連携と格差是正
- 学術研究の集積と産業活性化
- サービス、福祉、ものづくり等の国内・圏域内向け産業の活性化
- 豊富な観光資源を活用した地域活性化、国際競争力の向上
-

「生活の安全と豊かな環境」を目指す上での課題



「自立的発展」を目指す上での課題



○ 対応の方向性(例示)

- 地域が持つ豊かな自然・歴史・伝統文化などの地域資源を活用し、多様な地場産品が連携した産地ブランドの形成などにより、持続可能な地域づくりを目指す。
- 観光客だけでなく、留学生や技術研修生等を通じ、人的・知的な交流・連携を図ることで、アジアと一体化した交流圏づくりを推進することで地域活性化を図る。
- 自動車産業に代表される大型設備投資に伴う、関連企業の進出や地場産業の新規事業拡大といった効果が広く圏域内に波及するよう、圏域内ネットワークの強化を図る。
-
-
-
-
-



◎ 新しい九州像

-
-
-
-
-
-

検討小委員会の審議にあたっての留意点について

－ キックオフレポート（案）の作成まで －

1. 概ね 10 年間における「九州圏広域地方計画」の議論の土台を構築する。
2. 担務とする分野を中核として、議論を進める。
3. 「キックオフレポート（案）」を構成する「検討小委員会中間レポート」を作成する。
4. 「検討小委員会中間レポート」は、「キックオフレポート（案）」の構成にこだわらず作成する。
5. 「検討小委員会中間レポート」は、他の検討小委員会に関連する事項についても前広に提案する。
6. 「検討小委員会中間レポート」には、プロジェクト名は必要に応じて例示する。